

ひびばい 市議会だより

平成30年11月1日

45号

発行 美 唄 市 議 会
編集 市議会広報委員会

防災訓練（8月23日 有為団地）

平成30年第3回定例会は9月3日に開会し、9月21日閉会しました。本会議では例月出納検査結果報告、定期監査報告に続き、平成29年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率についての報告がありました。

議案については、条例改正案件1件、条例廃止案件2件、報告案件1件、補正予算案件3件、決算認定案件10件が上程されました。

委員長報告では、陳情2号市立美唄病院更新事業（建替え）計画に関する陳情について報告があり、願意妥当と承認採択しました。

9月6日未明に発生した、北海道胆振東部地震により議会日程を変更し、9月10日に台風・地震についての市政報告の後、一般質問が行われ、10・11日の2日間で9人が市

第3回定例会（9月3日～9月21日）終わる

☆ 一般会計決算実質収支
☆ 平成30年度補正予算
865万8千円の黒字
929万9千円可決

長並びに教育長に質問を行いました。

補正予算については、予算審査特別委員会では、一般会計では、総務費828万8千円、民生費63万5千円、教育費36万5千円、諸支出金5千円、国民健康保険会計6204万3千円、介護保険会計4693万円を審議し可決しました。決算認定の件については、決算審査特別委員会において4日間審議を行ないました（詳細は別記）。

会期を延長することなく迎えた本会議最終日には、意見書4件が可決されました。

◆◆ 主な内容 ◆◆

- ◆ 一般質問
- ◆ 各委員会の報告
- ◆ 定例会審査議案
- ◆ お知らせ
- ◆ 市議会の動き
- ◆ 編集後記

一般質問

今定例会では、
9人の議員が一般
質問を行いました。
質問・答弁は本人
が要約したものを
掲載しています。

公正クラブ

松山 教宗 議員



問 災害や避難時のペットの取扱いなど、これまでの災害を教訓に飼主とペットが安全に避難するため早期にルールづくりや平時から飼主が行う対策など意識醸成が重要では。

答 災害時のペットの取扱いは市地域防災計画で飼主がペットの健康・安全を保持し適正に取扱い、飼主が避難する際に同行するなど飼主自らの責

任で行う事としている。一方、避難所開設・運営マニュアルで屋外に所定のペット飼育場所を設け、居住スペースの持ち込み禁止を決めている。

しかし家族の一員という意識が高まっていることから飼主が平時から行うべき対策など意識醸成も含め具体的なペット同伴避難・収容ルールを決める必要がある。他市の状況を調査するほか内閣府の避難所運営ガイドラインに基づいた避難所開設・運営マニュアルの早期改訂に取組む。なお盲導犬、介助犬など身体障がい者補助犬は別室を準備するなどの配慮が必要と考えている。

問 美唄尚栄高等学校は本市にとつて必要。今後、間口減や閉校とならないよう、早急に存続できる体制を整える必要があるのでは。

答 間口減、または閉校になると様々な問題がでてくると考える。高校の存続は教育委

員会、だけの問題ではなく、まちづくりや市内高等学校卒業生の雇用対策を担う担当課等関係する市長部局が綿密に連携していくほか、学校関係者や保護者、市民の方々が同じ方向性のもと具体的な施策を検討して行く仕組みを構築していかなければと考えている。この仕組みづくりについて早急に市長部局と協議して行く。

日本共産党議員団

吉岡 建二郎 議員



問 3月9日に南一の沢川で発生した災害について、第2回定例会後の対応は。

答 支援チームを立ち上げメンタルヘルスケア等を行って

漂工事、上流周辺への雪捨ての状況の聞き取り調査をおこなった。

問 今後の災害に備えて、浸水状況等の詳細な調査を行うべきではないか。

答 今後、関係機関や被災者から更なる情報の収集に努めるとともに浸水状況の調査等を行い、万全な災害対応に努める。

問 住宅政策、市営住宅について、用途廃止と新設について。

答 南美唄団地、進徳東団地いなほ団地は「美唄市公営住宅等長寿命化計画」で10年以内での用途廃止を予定しているが、他の事業の実施状況と、市の財政状況を踏まえ、計画を見直すこととしている。新設については、各計画に基づき計画を策定し、入居者説明会及びアンケート調査を行いながら、丁寧な事業を進めていきたいと考えている。

問 用途廃止の計画がある3団地から新設される市営住宅へ移転する場合、入居者の負担が増えると考ええる。

答 5年間の激変緩和措置を講じている。また、低所得者の方への救済措置として、最

大9割の家賃減免を行っている。これらの制度については建替え事業の説明会で十分に理解していただく。

《その他の質問事項》

○土砂災害危険箇所について
○病院建替えの住宅政策への影響について
○青年支援について

みずほ議員会

谷村 知重 議員



◎町内会組織について

問 町内会加入の働きかけや、連合町内会組織設置の考えは

答 町内会は自主的に設置された任意団体であり、加入の強制はできないと考えているが、防犯・防災や環境対策など、安心安全な住み良いまち

市 議 会 だ よ り

(3)

づくりの推進に、欠くことの出来ないパートナーであることから、町内会の重要性について、周知して参りたい。

連合町内会の設置は、平成23年に町内会長に対して実施したアンケート調査では、「必要」が36・6%、「必要ない」が33・3%、「わからない」が25・8%、「未回答」が4・3%という状況で、その後、必要性については気運が高まっていると判断しているが、

少子高齢化などを背景とした人口減少社会において、地域が抱える課題に対応しながら協働のまちづくりを進めていくためには、町内会が持つ「地域力」の維持・向上が重要であると考えることから、安心安全で活力あるまちづくりに向け、町内会への支援のあり方など、行政と町内会との関わりについて調査研究したい。

◎各種基金の活用について

問 農業振興基金の年齢要件等の拡充について

答 本市農業が将来にわたって発展していくためには、新規就農者や農業後継者の育成・確保といった「人づくり」が

必要不可欠であり、こうした方々の育成・確保の充実に向けて、後継者の研修事業の年齢要件についても、併せて基金運営委員会において検討していただくようお願いしたい。

○その他の質問事項
○青少年育成基金の活用拡大について
○スポーツ振興について

無党派
森川 明 議員



問 TPP11について、米国の離脱にもかかわらず、乳製品の低関税輸入枠など米国の求めに譲歩した関税分野が修正できず、強行採決をした。

この法案成立によって安い輸入農産物が増え農業を守る

対策は万全ではない。市長の捉え方、全道市長会の動き、市農業の影響等を伺う。

答 法の成立によって、将来に向けての懸念、不安がさらに増え営農意欲や展望にも影響が危惧されるため、関係機関団体とともに、所得確保等必要な対応を行い、道市長会、全国市長会を通じ提言を行っていきたい。

市農業は小麦に影響があり国による十分な対策が講じられるよう対応をする。

問 シラカバ「ゴマダラカミキリムシ」の被害被害について、道に対しての防除対策、林業試験場調査の受け止め、方市の実態調査、原因は地球温暖化によるものか等、現状と今後の進め方を伺う。

答 道道月形峰延線のシラカバは、市有林、防風保安林の指定を受けており、道に対し治山事業での防除対策を要請、林業試験場の調査結果では被害が進行しており早急な対策が必要で、市の対応は再造林が必要と考えるが、一度に再造林は難しく経過観察をしながら引き続き整備を要望したい。地球温暖化との因果関係

は今のところ分かっていない。

◎その他の質問事項
○子供の貧困、市の現状と対策について

○道立林業大学校について
○教育プログラミング授業
○教育ICT活用について
○ブロック塀の安全確認

みずほ議員会

金子 義彦 議員



問 平成30年産主要農作物の作況について

答 水稲は生育が3日から4日遅れており、収穫期も遅れることのほか、茎数、穂数共に少なく、収量は平年をやや下回る見込み、また、小麦は細麦傾向とタンパク値が高めで、収量も平年を下回り、あ

まり良くない状況。大豆は、生育が停滞しており、葉数が少なく、丈も短くさや付も少ない状況で、収量が心配な状況。玉ねぎは、長雨の影響により、収穫作業に遅れが生じ、小玉傾向でM玉が中心になると伺っている。ハスカップは、低温により着果不良に加え、肥大期の干ばつにより小粒傾向で収穫量も平年を下回った。

問 平成31年実施の市長選挙出馬について

答 これまで厳しい時代の変化に対応しながら、持続可能な自治体経営に向けて、第6期美唄市総合計画後期基本計画と美唄市のまち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、人口減少の克服や地域経済の活性化、地域医療の構築など、活力あるまちづくり、安全・安心なまちづくりに向けて、市民の皆さんと協働しながら全力で取り組んできた。総合計画については、締めくくりに迎え、評価・検証を行い次期総合計画にしっかりとつなげなければならぬ時期にあることから、市長選挙の立起につきましては、後援会や、関係者の皆さんとも相談しな

から、前向きに、しっかりと検討を行ってまいりたいと考えている。

《その他の質問事項》

○市内4排水機場の稼働状況について

○森林環境税、森林環境譲与税について

○教育のICT化について

公正クラブ

川上 美樹 議員



問 子育て支援について

「美唄市まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、「若い世代の結婚、出産、子育ての希望を叶える」とし、「結婚から子育てまでの切れ目ない支援を行う」とある。私は人口減少が大きな課題であり、特に

かり整えておくべき。

日本共産党議員団

吉岡 文子 議員



問 障がい者雇用について、

中央省庁や道内自治体等で報告と違った実数だったことが表面化した。本市の状況は、表を参照

障がい者雇用率について			
	雇用率	法定雇用率	全校生徒
市長部局	2.96%	2.5%	聴覚機能障害 肢体不自由 内部障害
教育委員会	4.35%	2.4%	言語機能障害 内部障害

問 障がい者の雇用については依然厳しい状況である。市内には特別支援学校もあり、知的障がい者雇用で全国的に知名度の高い企業もある。今後の考え方と知的障がい者、精神障がい者の雇用について。

答 平成33年4月までに法定雇用率が0・1%引き上げらるること、今後障がいを持つ職員が定年を迎える事例もあるので全体の職員数に十分配慮しつつ計画的な障がい者雇用

に努める。精神及び知的障がい者の雇用の考え方については、障がい者の雇用と職業の安定を図るという観点からも、雇用の場を提供していることは大切であると認識している。

雇用に当たっては、配置する所属や業務内容、サポート体制の構築をしなければならな

いことから、他市の状況も含め、調査研究が必要である。

《その他の質問事項》

○道路整備（街路樹、市道の整備）

○教育行政（道徳教科書展示、性的マイノリティーへの理解）

○教育行政（道徳教科書展示、性的マイノリティーへの理解）

○教育行政（道徳教科書展示、性的マイノリティーへの理解）

○教育行政（道徳教科書展示、性的マイノリティーへの理解）

○教育行政（道徳教科書展示、性的マイノリティーへの理解）

○教育行政（道徳教科書展示、性的マイノリティーへの理解）

○教育行政（道徳教科書展示、性的マイノリティーへの理解）

無会派

本郷 幸治 議員



◎「フレイル」予防について

問 「フレイル」とは「加齢とともに筋力や認知機能が低下し、生活機能障害、要介護状態、死亡などの危険性が高くなった状態」のことで適切な介入・支援により生活機能維持・向上が可能になります。

本市の前期・後期高齢者の人口と要支援・要介護認定者数及び「貯筋体操」に参加して

いる延べ人数の実態について

答 15年度で前期高齢者人口は4160人のうち要支援・要介護認定者数は154人、

17年度は4164人で同168人。75歳以上の後期高齢者

8人。75歳以上の後期高齢者

8人。75歳以上の後期高齢者

8人。75歳以上の後期高齢者

数は15年度4849人で同1500人、17年度4917人で同1566人。貯筋体操の参加延べ人数は15年度1万7717人、17年度1万7474人で推移しております。

問 市は今年の3月、東北文化学園大学と札幌医科大学を医療研究者として高齢者健康調査を実施。75歳以上の要支援・要介護認定を受けていない3371人アンケート調査票を送付しましたが、回収したアンケートの結果と検証、そして今後の事業展開についてどのように考えているのか。

答 回答率は34・8%の1174人のデータを各大学で分析中。市の介護予防の効果を長期検証しており、貯筋体操がフレイル予防に効果的であることが明らかになればより多くの人に貯筋体操に取り組んでもらう工夫をしたい。

《その他の質問事項》

○学校での心肺蘇生教育の普及推進及び突然死ゼロを目指した危機管理体制について。特に本市の小中学校における心肺蘇生教育の現状と今後の方向性などについて質問。

公正クラブ

山崎 一広 議員



問 あるべき地域医療の姿と市立病院の建替えについて

①地域医療の姿について

②市民説明会等について

③市民意識の変化は

④見直しの考え方は

答 ①在宅に至るまでの切れ目のない医療の提供、保健や福祉の連携、医療や介護の支援体制、地域包括ケアシステムの構築が重要。

②将来負担を考え規模の縮小や、財源負担の軽減、財源的な根拠、信頼される病院創り等。

③建替えの必要性、事業費と実質の返還額の相違等、理解

が深まった。

④市民委員会に11月提言を、総合的に判断したい。

問 何故3月に立ち止まったのか、市長自身が払うのなら良いがとの市民意見もあり、タイムスケジュールから待てない時期では

答 市民及び関係団体と真摯に議論を深める必要から判断した。11月提言を頂き、十分に検討を行い、総合的に判断し、12月に方針を決めて行きたい。

問 会議所の意見書や老人クラブとの意見交換、各種団体から様々な意見が、来年の市長選挙に影響がないために、市長の決意を

答 立ち止まった以降、より多くの市民の方々の意見を交換、病院の必要性にご理解を頂いたと受け止めている。将来の人口減少を見据え、コンパクトなまちづくりに向け最優先に取り組む重要施策の一つとして考えている。

委員会の報告

常任委員会と特別委員会での質疑応答と議論の主な内容

《地域医療体制等調査特別委員会》

陳情2号 市立美唄病院更新事業（建替え）計画に関する陳情

問 母町連絡協議会の中で、規模の縮小について議論をされたとのことであったが、どのような内容だったのか。

答 現在の市立美唄病院の現状では手術を行うことが出来ないと考えことから、手術室に過剰な設備を投資せず、必要最小限度の設備で良いのではないかと、また、基本設計では機械室が3階に設置されることとなっているが、耐震や振動防止の点からも設置場所について再検討の余地があるのではないかと、などといった議論がなされた。

問 市民説明会について、市民からの意見が全く通らないとの説明があったが、それは市に意見を言っても、それらに対する回答がなく、意見が通っていないとのことなのか。

答 説明会の時に多くの方から様々な意見が出るが、なかなか取り入れてもらえず、また、意見を持ち帰って検討するという姿勢も見られない。

陳情第2号 採択して市長に送付すべきものとし、意見としては、「願意妥当と認められるので、本市の財政状況を踏まえ、市立美唄病院の建替え等に関する市民委員会をはじめとした市民の意向を考慮の上、理解を得ながら事業の推進を図るよう善処されたい」と決定した。

《総務・文教委員会》

47号 美唄市恩給条例廃止の件

問 共済組合設立前に、給与事由の生じた人が、恩給として現在まで引き継がれてきたのか、また平成元年度の恩給の支払額は。

答 昭和37年12月に、共済組合に加入する以前からの部分で引き継がれたもので、平成元年の恩給の金額については1670万8759円の決算となっている。

47号 原案可決

48号 質疑なし

49号 《産業・厚生委員会》美唄市へき地保育所条例の一部改正の件

問 峰延保育所が閉所された際の保育士の処遇と、建物の跡地利用についてはどのような

に考えているのか。

また、閉所に伴い、進徳保育園へ転園する子もいると思うが、園児数も多く、老朽化も進んでいる。将来展望については考えているのか。



峰延保育所

答 へき地保育所の保育士の採用は、美唄市特別保育事業協議会が行っているため市の職員ではないが、市の保育士も不足していることから、今後、意向を確認していく。

なお、跡地利用については、議決後に地域の方と協議・検討を進めていきたい。

また、進徳保育園を含むへき地保育所については、老朽化が進んでいることから、現在は、施設や備品の点検・確

認・修繕などを計画的に行っているところであり、今後については、少子化が進んでいる状況もあることから、へき地保育所における入所者数の推移を見ながら、あり方について検討していきたい。

49号 原案可決

《予算審査特別委員会》

委員長 土井 敏興（公正クラブ）

副委員長 楠 徹也（みずほ議員会）

50号 平成30年度美唄市一般会計補正予算（第3号）

問 「行政情報化運用事業」について、本市のマイナンバーカードの交付率と推移、近隣市の状況について。

答 本市での交付率は平成30年7月1日現在で9・7％となっており、30年度に入り、普及率は緩やかに推移している。

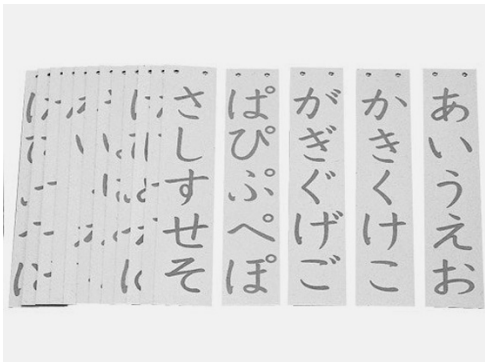
また、同時期では、北海道全体が9・7％、岩見沢市が10・2％、砂川市が10・7％の交付状況となっている。

問 「こども療育広場事業」

について、「砂文字板」とはどのようなものなのか。

答 長方形の板に砂が吹き付

けられており、それを指先でなぞりながら発音することで、視覚、聴覚、触覚を通して文字を習得し、記憶を確かなものとする教材である。



砂文字板

問 「スポーツ大会・教室開設事業」について、クライミング体験の対象年齢と管理運営体制について、また、クライミング壁の改修の考え方について。

答 体験会では3歳ぐらいのお子さんから大人まで幅広い参加者がいるが、主に小中学生中心の参加を想定しており、運営については、クライミングサークルの方々の協力をいただきながら消耗品の交換やルート設定を行うなど、安全

面に配慮し実施している。

なお、クライミング壁については、保守点検を行った際に、業者から「ナット類が脱落している箇所が複数ある」との指摘を受けていることから、当該部分を使用しないよう安全面に考慮しているが、利用者の安全を第一に考え、今後、脱落部分のナットの交換や、パネルの張り替えをしなければいけないと考えている。



ボルダリングウォール

クラブ）

認定第1号 平成29年度美唄市一般会計決算認定の件

議会費・総務費

問 「庁舎管理費」について、北海道胆振東部地震により、市役所庁舎や公共施設の被害はあったのか。



市役所庁舎

答 庁舎は、目視で確認したところ、モルタル等が若干落ちていた箇所はあったものの、目に見える大きな被害はなかったものと認識している。また、公共施設については、現在取りまとめ中であるが、東小学校では、校舎軒先のボードが外れ、市民会館では、大ホールの緞帳上部よりコンクリートブロック片が落下し、また、

50号 原案可決

51号 質疑なし

52号 質疑なし

《決算審査特別委員会》

委員長 桜井 龍雄（みずほ議員会）

副委員長 松山 教宗（公正

市 議 会 だ よ り

客席天井部にある暖房吹き出し口の部品の落下があったとの報告を受けている。

民生費・衛生費

問 「へき地保育所管理運営事業」について、へき地保育所の定義とメリットについて。

答 へき地保育所は、地方自治法により規定されている公の施設であるが、地方公共団体が指定するものに委託が可能なこと、指定管理者と協定を結び、管理運営を行っており、メリットとしては、地域により密着した保育所として、3歳未満児の受入れを行っている。

問 「最終処分場・生ごみ堆肥化施設等管理運営事業」について、生ごみの受入量が1693・73トン、堆肥製造量が93トンとなっているが、需要と供給のバランスはとれているのか。

答 製造能力としては、生ごみ受入量の約1割にあたる160トン程度の堆肥の供給が可能だが、出荷量については、現在、販売先等の問題から、年間80トン程度にとどまっております。製造過程で量を抑えている。



生ごみ堆肥化施設

労働費・農林費

問 「勤労者共済会補助事業」の内容について。

答 市内民間企業等で働く、勤労者の福利厚生増進と、従業員の安定・定着及び企業の振興発展に寄与することを目的に補助するもので、給付事業として会員の慶弔費、見舞い金等給付事業として241件で327万5000円、厚生事業として、健康診断の助成が514件で77万1000円、スポーツ振興関係として、スキーリフトの割引等が12件で2万4000円、その他免許更新などの補助として99件で17万9500円が主な内容となっている。

問 「農業経営資金利子助成事業」について、利子補給対象件数256件の内容と、過去の災害と被害規模について。



被害を受けたビニールハウス

答 利子助成の内容については、基盤強化資金443万6000円で、JA美唄に285万3000円、JA峰延に126万円、JA岩見沢に28万7000円、個人が、3万5000円となっている。過去の災害については、平成24年度に、豪雪によるビニールハウスの倒壊等で、被害額が1億2400万円、平成21年度は低温被害により水稲で10億3000万円、小麦で4億3600万円、大豆で9100万円、アスパラで8800

万円、平成16年度の被害では水稲で3億1800万円、野菜、アスパラ他で9400万円、花き1億2300万円、営農施設3億3300万円となっている。

商工費・土木費

問 「交流拠点施設費」について、今回の台風と地震により、ゆくりん館では3、4日停電したという事だが、被害の状況と現状について。



台風被害での倒木

答 今回の停電による、ゆくりん館の被害は、食材、食品の廃棄と倒木が多数ということとで、約50万円の被害となっている。また、上水ポンプ室のトランスが故障し、通電した際に流入流出計が損傷し、

自動から、手動に切りかえて対応していることから、早急な修繕が必要となっている。

問 公園の倒木の処理について。

消防費・教育費

答 現在のところ、エコの丘びばいに入入している。

問 「消防費」全般について、最近、救急や火災等による出動件数が増えているように見受けられ、今回のような台風や地震などによる災害対応が重なる、さらに職員が足りなくなるのではないかと思うが、職員の充足率について、どのように考えているのか。



消防訓練にあたる職員

答 現状では、定数48名に対して、産休1名を含む46名体制で対応しており、消防隊の職員80%が兼務で業務を行っている。実績としては、救急件数が約1000件、火災件数が12件となっているが、それぞれ1500件、20件を超える状況になった場合は、職員数に不足が生じ、対応を考えていかなければいけない。

問 「公民館・市民会館費」について、この度の北海道胆振東部地震による市民会館大ホールの被害状況について。



市民会館大ホール

答 ステージ上部から、0・5センチから1センチ程度のコンクリート片が9個と、客席の天井に設置している送風口の内、1か所の部品の一部

がそれぞれ落下していることを確認した。

災害復旧費・公債費・職員費・諸支出金・予備費

問 「災害復旧費」について、全額不用額となっていることがほとんどだが、過去に使用された事例はあるのか。

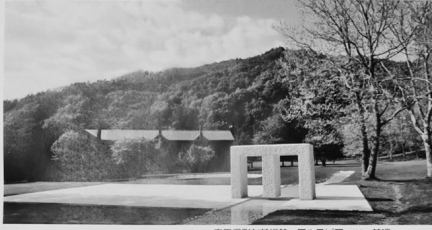
答 平成12年に排水に関わる農業用災害復旧費を、平成14年に河川災害復旧費を、それぞれ使用したことがある。

歳入全般

問 「市たばこ税」について、予算額と調定額に860万円程度の開きがあるが、減収の要因は。

美唄市受動喫煙防止条例

を平成27年12月に制定し、平成28年7月に施行しています



受動喫煙防止条例ポスター

答 受動喫煙防止条例の影響も少なからずあるかとは考え

ているが、大きな要因としては、健康志向による禁煙者の増加、税率が低い加熱式たばこや、電子たばこの普及が上げられるのではないかと考えている。

認定第2号 平成29年度美唄市民バス会計決算認定の件

問 平成29年度のバス利用人数が、28年度より減少しているが、その要因は何か。また、バスの自由乗降の現状と今後について。



市民バス

答 要因としては人口減少のほか、昨年10月、11月に実証運行を実施したことにより、慣れない、乗りづらい等の意見があり、その分でも減少している。また、自由乗降につ

いては、西線では一部実施しているが、東線では利用者も多いことや、短い区間で停留所が設置されていることから、今のところ検討はしていない。

認定第3号 平成29年度美唄市国民健康保険会計決算認定の件

問 国民健康保険税の滞納措置の状況で、資格証を交付しているが、急病のときの対応はどのようにしているのか。

答 特別事情ということで、納税相談等をしていただき、短期証を交付している。

国民健康保険被保険者資格証明書			
交付年月日		年 月 日 交付	
有効期限		年 月 日 まで	
記号	資-	番号	
住所			
氏名			
氏名			
生年月日	昭・平	年 月 日	
資格種別	1.一般被保険者 2.退職被保険者 3.2.の被扶養者		

国保資格証

認定第5号 平成29年度美唄市介護保険会計決算認定の件

問 おれんじカフェの利用状況と、本市の認知症サポーターの状況について。

答 おれんじカフェの利用状況については、開設した平成

27年が445人、28年が829人、29年が1005人と年々増加しており、利用者の3割が認知症や、そのご家族の方となっている。また、認知症サポーターの人数は、9月1日現在、799人となっている。



おれんじカフェ

認定第6号 平成29年度美唄市介護サービス事業会計決算認定の件

問 恵祥園の待機者数と介護度の内訳、入所条件について。

答 待機者数は、平成30年7月31日現在で、要介護度3が5名、要介護度4が3名、要介護度5が1名の計9名となっている。入所条件は、介護保

険制度に基づき介護度3以上の方を対象としており、入所判定委員会で順位づけされた介護度の高い方から優先的に入所させている。



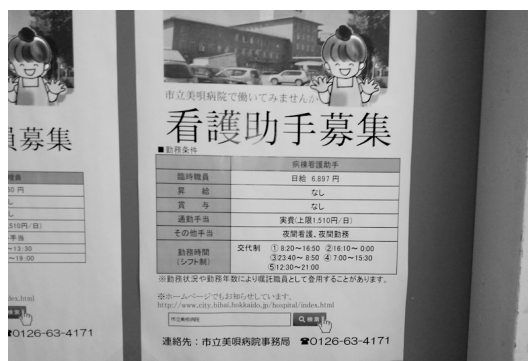
恵風園・恵祥園

認定第8号 平成29年度市立美唄病院事業会計決算認定の件

問 病院職員の接遇面について、対応が良くないとの話をよく耳にするが、実際に入院された方からは、うわさで聞くほど悪くはなかったとの声も上がっている。一度流れた風評を改善するのは大変かと思うが、良い対応を維持していくための人員確保と接遇教育のあり方についてどのような

に考えているのか。

答 人員確保については、看護職員の充実を図るため、修学資金の貸付金を増額したり、美唄聖華高校の就職説明会に出席するなどし、新病院の機能もPRしながら、求人活動を展開している。接遇面については、病院に設置しているご意見箱を通しての意見も参考にしながら、研修等もしっかりと行い、取り組みを進めていきたい。



病院職員募集ポスター

認定第9号 平成29年度美唄市水道事業会計決算認定の件

問 有収率が78・7%となっているが、本市と他市の状況目標数値について。

答 本市では、4年計画で漏水調査を進めてきた結果、28年度と比べ、1%有収率が上がった。有収率は、全道平均が82・2%、岩見沢市が84%、三笠市が72%となっているが、本市では、最低80%を目標値としているため、今後も引き続き漏水調査と老朽管の改良を進め、できる限り目標値に近づけていきたい。



水道工事

認定第10号 平成29年度美唄市工業用水道事業会計決算認定の件

問 28年度に比べ、有収率が6・6%上がっているが、その要因について。

答 漏水していた口径100

ミリの配水管を修理したことにより、有収率の増につながった。

認定第4・7号・書面審査 質疑なし

認定第1号 起立採決、原案認定

認定第2・3・10号 原案認定

第3回定例会での審査議案 (簡単な内容説明です。委員会報告にある件は、委員会名を記載してあります。)

報告第16号 例月出納検査結果報告

報告第21号 定期監査報告

報告第22号 平成29年度決算

表1 補正予算

(千円)

50号 平成30年度美唄市一般会計補正予算(第3号)

補正総額 9, 293 (千円)

歳入 国庫支出金
一般財源
その他

3,888
4,400
1,005

歳出 総務費 行政情報化運用事業
基金積立金
民生費 こども療育広場事業
市立保育所管理運営事業
認定こども園管理運営事
教育費 スポーツ大会・教室開設事業
諸支出金 過年度清算金

3,888
4,400
42
320
273
365
5

市 議 会 だ よ り

に基づく健全化判断比率及び資金不足比率報告の件

第47号 総務・文教委員会

第48号 美唄市職員退職給与条例廃止の件

第49号 産業・厚生委員会

第50号 平成30年度美唄市一般会計補正予算(3号)(表1)

第51号 平成30年度美唄市国民健康保険会計補正予算(2号)(表2)

第52号 平成30年度美唄市介護保険会計補正予算(1号)(表3)

認定第1・2・3・5・6・8・10号 決算審査特別委員会

認定第4号 平成29年度美唄市下水道会計決算認定の件

認定第7号 平成29年度美唄市後期高齢者医療会計決算認定の件

陳情第2号 「市立美唄病院更新事業(建替え)計画」に関する陳情(委員長報告)

意見書第1号 林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

意見書第2号 地方財政の充

表2 補正予算 (千円)

51号 平成30年度美唄市国民健康保険会計補正予算(第2号)

補正総額 62,043(千円)

歳入	一般財源	32,596
	その他	29,447
歳出	諸支出金 過年度精算金	62,043

表3 補正予算 (千円)

52号 平成30年度美唄市介護保険会計補正予算(第1号)

補正総額 46,930(千円)

歳入	一般財源	46,930
歳出	基金積立金 介護給付費準備基金積立金	33,312
	諸支出金 過年度清算金	13,613
	一般会計支出金	5

実・強化を求める意見書

意見書第3号 平成30年度北海道最低賃金改正等に関する意見書

意見書第4号 市町村管理河川維持改修費への国庫補助を求める意見書

市議会の動き

8月

6・30日 議会運営委員会

9月

3日 第3回定例会開会

7日 議会運営委員会

10日 一般質問

11日 議会運営委員会
一般質問
常任委員会
予算審査特別委員会

12日 議会運営委員会

12日 14・18日
決算審査特別委員会

19日 地域医療体制等調査特別委員会

21日 第3回定例会閉会
議員協議会
議会運営委員会

28日 広報委員会

28日 広報委員会

10月

2・10日 広報委員会

22・24日 議会報告会

編集後記

第3回定例会が始まり、翌日からの台風21号による強風被害に加え、6日未明に発生した北海道胆振東部地震により犠牲になられた方、被災された方々にお悔やみとお見舞いを申し上げます。また、多くの世帯では約45時間に及ぶ停電により、不便で不安な時間を送られたことと思います。昨今の様々な自然災害からその脅威を痛感し、防災対策等、改めて考え直す必要性と

災害への備えを構築することが急務であると感じさせられました。

さて今期定例は、これらの事態から会議日程を一部変更し行われ、9人の議員による一般質問、平成29年度各会計の決算認定を含め、多くの重要な案件について、会期を延長することなく議了することができました。

一方、市内の水田では米の収穫作業が始まり、後に大豆の刈り取りとなり、収穫の秋本番を迎えています。小麦を含め各作物の作況は良くなく、市内経済への影響を危惧するところでもあります。(と)

広報委員会

委員長 谷村 知重
委員長 松山 教宗
委員 楠 徹也
委員 吉岡 建二郎

お知らせ

本会議、委員会は、どなたでも傍聴できます。平成30年第4回定例会は、12月上旬の予定です。日程など詳しくは議会事務局(電話63-0141)にお問い合わせ下さい。